

産業医実務研修センター

産業医実務研修センターってどんなところ？

実務

- ◆ 嘱託産業医活動
様々な業種の企業に行き、バランスよく学ぶことができます。
- ◆ 指導医との1on1
月1～2回実施。産業医実務での困り事、進路、人生相談まで…！

教育

- ◆ 実務講座、学外研修等
講義や実習を通して産業医学を体系的に学びます。
実践研修、プレミアムセミナー、コアカリキュラム
興味のある研修会への参加費補助プログラムあり（動機づけ面接、アンガーマネジメント等）
- ◆ 勉強会
毎週月曜日、様々な勉強会を実施しています。
事例検討、事業所紹介、抄読会、ロールプレイ、総診ロボ勉強会、修練医勉強会

研究

- ◆ 研究活動
自分の好きなテーマを選択し、研究に参加します。
・ 産業医の初期段階の応力向上のためのプログラム開発
・ 産業医に求められる臨床能力の検討と効果的な教育に関する研究
・ 職場で上司と部下が定期的に行う1対1ミーティング(1on1)の効果に関する研究
・ 放射線防護マネジメントシステムの適用と課題解決に関する研究
・ 電動ファン付きマスクのファン稼働値がマスク内環境へ与える影響の検討
- ◆ 学会参加
研究成果を学会で発表します。海外の学会もあります。

この建物の
3階です！



大学卒業後～修学資金終了まで

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6～9年目
初期臨床研修	臨床経験	実務研修センター	専属産業医等		



年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行事	歓迎会					医局旅行			忘年会			送別会
業務	嘱託産業医、保健センター業務、研究、健診 など											
講座	基本講座 (1年目のみ)		実務講座 (1クール目)					実務講座 (2クール目)				
学会		日本産業衛生学会	国際学会				全国協議会					
その他	毎週月曜日はコアDAY（勉強会、カンファ等） 学外研修への参加、救急部派遣（1ヶ月間）、保健所研修（4日間）											

みなさんをサポートします！

教授 川波祥子

とっても優しいセンター長！
研究テーマ：産業医学教育、熱中症予防、呼吸用保護具着用による生体影響、過重労働対策など



教育教授 柴田喜幸

伝え方のスペシャリスト！
研究テーマ：教育設計、ファシリテーション、組織開発



准教授 喜多村紘子

研究のスペシャリスト！
研究テーマ：放射線の生体影響、放射線防護、換気能力調査



助教 田口要人

実務のスペシャリスト！
研究テーマ：メンタルヘルス、1on1ミーティング



お待ちしております♪



近年の就職状況

日本製鉄、三菱重工、三井化学、コマツ製作所、クボタ、SUBARU、日本フルハーフ、UBE、労働衛生機関 等

連絡先

☎ 093-691-7171

✉ 田口 要人 yoto_tag@med.uoeh-u.ac.jp



* 教室説明会は1月29日(月)18時 実務研修センター 3階

健康開発科学



教授
大和 浩

3回生
ヨット部顧問



講師
姜 英

中国出身
バイオ統計学

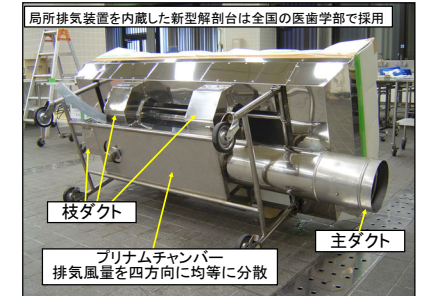
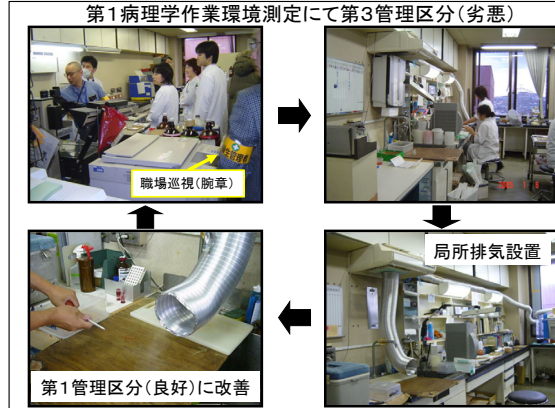


助教
朝長 諒

愛媛大医学部
2016年卒

健康開発科学のセールスポイント① 産業医の基本スキルを習得

・職場巡視と作業環境管理：
大和は本学の衛生管理者を20年担当
有機溶剤(ホルムアルデヒド)のすべての問題を解決
第1病理学作業環境測定にて第3管理区分(劣悪)

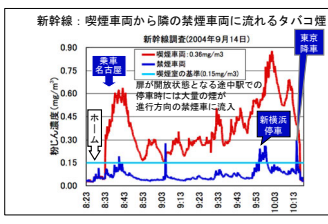
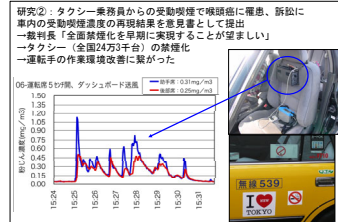


解剖学を担当する教職員が発がん性物質(ホルムアルデヒド)の曝露を解消。ご遺体のニオイもなくなり「快適職場」を実現

作業環境改善の良好事例を全国展開
⇒「すべての働く人を守る」が最終目標

健康開発科学のセールスポイント②: 受動喫煙対策を習得

・タバコ煙のリアルタイムモニタリングで新幹線、タクシー、官公庁の受動喫煙問題を解決



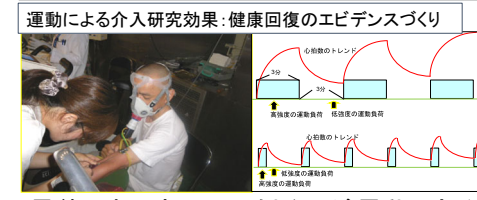
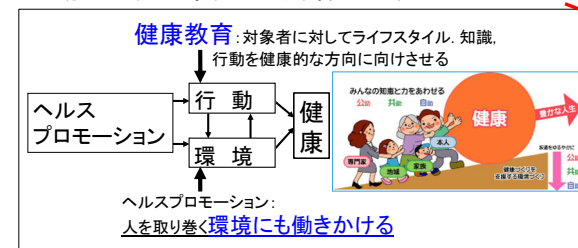
たけしの健康番組
働く440万人の受動喫煙
喫煙可能な居酒屋
大気環境基準の20倍に達する危険な状態
大気環境基準は35 μg/m³

2020年、飲食店も原則屋内禁煙
とした改正健康増進法の成立に寄与

最終目標: サービス産業で働くすべての人を法律で受動喫煙から守る

健康開発科学のセールスポイント③: 運動による健康増進の介入研究手法を習得

・運動しやすい環境づくり、体力測定に基づく適切な強度の運動処方の実践



姜英講師による統計解析手法も身につきます。

ローラー置筋

18kgの負荷腹筋

ベンチプレス

健康開発科学の副産物
→ 自分も運動するので健康になります!

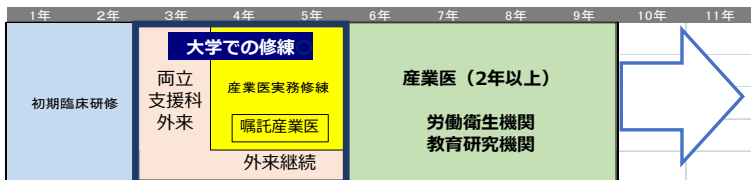
最終目標: すべての働く人が運動できる
職場環境の整備と教育の普及

医学部・両立支援科学

コース I - ②



厚生労働省 治療と仕事の両立支援
イメージキャラクター
ちりょうさ



- 社会医学系専門医
- 産業衛生専門医
- 労働衛生コンサルタント
- “人”と“仕事”に対し、多面的な深い理解の上でアセスメントし関われる医師
- 産業医としての高いレベルの技量・Identity
- 両立支援を専門とした社会貢献

医療機関から“人と仕事の適合”に取り組む経験

医学部・両立支援科学

診療科長 / 准教授
永田 昌子

専属保健師
石上 紋

卒4 修練医
古江 晃子

卒4 修練医
渡邊 萌美

専属看護師
細田 悦子

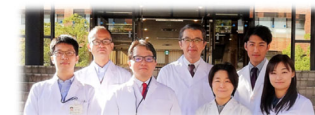


助教
原田 有理沙

卒6 専属産業医
橋本 博興



病院内の両立支援チーム（多職種）



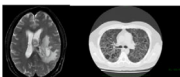
診療科非常勤医師
江口教授、立石教授、森教授

両立支援科学 Our Vision

“生産年齢人口の減少”という日本の課題の解決するために、健康問題により就業の困難を抱える人たちに対して
医学的・産業医学的視座に立ち、多職種でアプローチし、
そのひとらしく就業できることを支援する。
エビデンス構築し、社会実装を目指す。

研究

臨床事例の検討

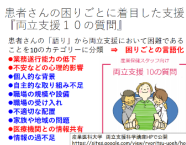


継続支援調査

インタビュー調査

ツール開発

臨床事例の検討



産業医
実務

世界
最先端
臨床

当院の支援実績

症例数

1,150件超

意見書発行数

280件超



治療と仕事の
両立支援



両立支援科学 Our Policy

両立支援科学は、多様性を重視します。

人によって違う プロセス・ゴール を大事にし、
お互いを高めあいます

ご興味がある方は、ぜひ
医局説明会・個別面接 にお越しください
話を聞くだけでもOKです。

医局説明会：

- ・ 12月25日（月）12時～ランチあり
- ・ 1月 9日（火）18時～お弁当あり

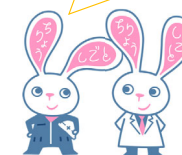
個別面接：

- ・ 原田 arisa-harada@med.uoeh-u.ac.jp
にメールください。



ご案内＆参加
入力フォーム

“人”と“仕事”に対して
多面的に深く理解し関われる
産業医になりたい！



大学に3年間在籍し
産業医としての専門性を
じっくりと身につけたい！

将来の選択肢は多い方がよい！

- ・ 産業医
- ・ 開業 産業医
- ・ 教育者・研究者
- ・ 臨床・育児・事業…と両立

環境疫学

全員が産業医専従経験あり

修練医所属状況

4年次 1名
3年次 0名
2年次 6名
1年次 6名
現6年生 2名

ベテラン医師の大学院生 多数



藤野 善久 教授

- ・ 15期生
- ・ ボート部
- ・ 産業医専従経験あり
- ・ 疫学を専門
- ・ 学内外の研究コンサルを多数受ける
- ・ 海外MPH留学経験あり



大河原 眞 助教

- ・ 31期生
- ・ 軽音楽部
- ・ 元TOTO本社 専属産業医
- ・ 産業保健実務、疫学研究、臨床との共同研究など

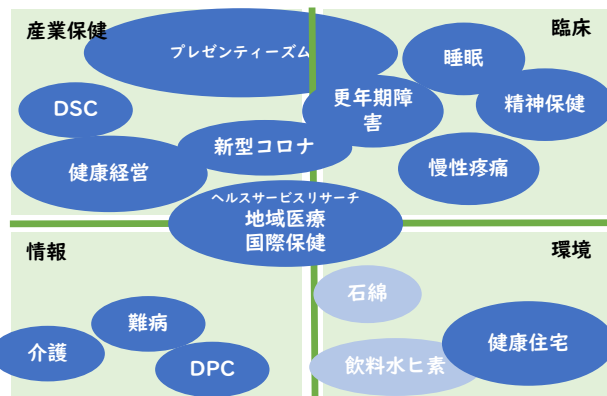
環境疫学での修練の目標

- ・ 産業医能力の修得
 - ・ コースIで設計された嘱託産業医活動+講義
 - ・ 修練医同士の勉強会
 - ・ 教室ミーティング、個別相談
- ・ 疫学・統計の能力
 - ・ 基本的な統計知識の修得
 - ・ 統計ソフトの活用
 - ・ 研究デザインの企画・設計

専門産業医として活動する上で重要な
分析能力やデータリテラシーの基礎を身に着ける

研究テーマ

- ・ 環境要因（社会経済状況を含む）と健康との関連の解明
- ・ 幅広い研究内容から、興味のある研究テーマを選択
 - 修練後には**会社の健康データを分析評価、対策立案**ができるように



研究テーマの例

- ・ コロナ禍における労働者の健康
- ・ 女性の健康（月経、更年期、不妊治療）と労働
- ・ 医師の労働状況調査（日本医師会）
- ・ 企業における産業保健研究
- ・ レセプトデータ研究（DPC、DSC）
- ・ 国際保健、海外調査（WHO、ILO等）
- ・ みやこ町の長期コホート
- ・ その他（臨床・地域保健など）

教室の特徴

- ・ 豊富な研究実績
- ・ 分野横断的な連携
- ・ 産業医専従経験のある教員
- ・ 国際分野への強み
- ・ 卒業生産業医のネットワーク
- ・ 臨床・産業医の専門医指導医を持った
大学院生が多数在籍

産業医修練

学位

留学

就職

衛生学

教員： 辻 真弓
桑村真美
大学院生： 櫻木俊秀

連絡先： 大学1号館7階資料室（1737）
j-eisei@mbox.med.uoeh-u.ac.jp
093-691-7429

衛生学講座の研究 溶接ヒュームの健康影響

R2年度～R4年度
厚生労働省労災疾病研究事業

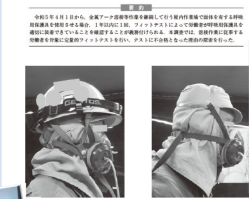


令和2年～現在

医学部である、
産業医科大学である、
メリットを生かした研究

呼吸器内科： 矢寺先生
研究所： 上野先生
産業保健学部： 保利先生
その他、学外の産業医の先生方
広島大学 理学部、
鹿児島大学、中災防と共同研究
バックアップ： 厚生労働省

● 投稿論文 ●
呼吸用保護具の定量的フィットテストから得られた知見
～金属アーク溶接等作業に従事する労働者対象とした調査から～
辻 真弓 桑村真美 櫻木俊秀 高田 尚平



投稿年次： 11年 溶接作業： 15年
図3 1項目定量的マスクフィットテストの結果
産業医学ジャーナル2022年9月号

背景 溶接ヒュームのばく露限界値
(は不明 (国内調査はばゼロ))

溶接ヒュームのばく露による
健康影響の有無を調査

日本初

目的

結果 論文文化して社会に発信

作業環境管理 ならびに
作業管理の徹底に活かしたい

現場

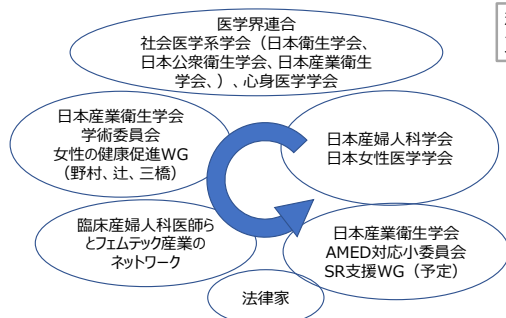


現場に行こう！

日本医療研究開発機構(AMED)の仕事 予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業 ヘルスケア社会実装基盤整備事業



働く女性の健康に関する非薬物的介入のシステマティックレビューと 職域における女性の健康保持増進に向けたガイドライン作成



秋田大学、慶応義塾大学、東海大学、東京女子医科大学、
東邦大学、産業医科大学卒業生産業医と連携

- 就労女性をとりまく問題にはどのようなものがあるのか？
- ガイドラインを策定し、女性の健康保持増進を！

研究 (大学) → 成果物を現場へ！

世代、分野を超えて女性の健康を包括的に議論できる体制



コホート調査 エコチル調査



調査の目的
子どもたちの健康に影響をもたらす環境要因を解明し、子どもの脆弱性を考慮したリスク
管理体制の構築を図ることで、次世代育成にかかる健やかな環境の実現を目指します。

全国15か所で実施中

対象者 10万人
今後数十年継続予定



多様な職種ごとに、栄養摂取状況を比較

職業	性別	年齢	平均摂取量 (mg/day)
建設業	男性	20-29	1,140
	女性	20-29	1,140
製造業	男性	20-29	1,140
	女性	20-29	1,140
サービス業	男性	20-29	1,140
	女性	20-29	1,140
その他	男性	20-29	1,140
	女性	20-29	1,140

Figure 2. Daily calcium intake according to occupational groups. OR: Odds ratio of daily calcium intake equal to or more than 700 mg/day.

職業、
就業形態、
仕事の原因でばく露する可能性のある化学物質等
個人では収集できない莫大なデータを用いた研究が可能



産業保健経営学

- ・ スライドマスターの編集は行わないでください。
- ・ この1枚目のスライドには、講座名のみを記載してください。
- ・ スライドはタイトルページを含めて全4枚とします。
- ・ 当日は完成版提出順にご発表いただきます。
- ・ 提出〆切は11月29日です。

産業保健経営学のVision

森晃爾 (教授)
永田智久 (准教授)
小田上 公法 (助教)
Nuri Purwito Adi (有期助教)

- ・ 我々の使命
 - ・ 産業保健の基盤的知識・技術と働く人および企業組織に対する深い理解を強みとし、専門分野内外の幅広いネットワークを活かして、働く人のウェルビーイングの実現と企業の健全な発展のために、社会および企業内システムにアプローチし、ひいては社会のサステナビリティ向上に貢献することを使命とする。
 - ・ 使命を果たすための取組みの成果
 - ・ 働く人のウェルビーイングの実現と企業の健全な発展のための
 - ① 使命を共有する人材の量および質
 - ② 有効なプログラムに関するエビデンスの量および質
 - ③ 企業組織内の産業保健システムモデルの完成度
 - ④ 社会システム構築への貢献度合い
- と位置づけ、成果の継続的な向上に努める。

産業保健経営学
産業医科大学 UOEH

① 使命を共有する人材の育成

一流の専門家に育成します!

- ・ 嘱託産業医
 - ・ 事例検討会, 教員との議論(1 on 1)
- ・ 教員のプロジェクト(研究/政策)を経験
 - ・ 自分のアイデアで研究
- ・ 多くの一緒に学ぶ仲間が存在
 - ・ 産業保健経営研究会(同門会): 100名以上の産業衛生専門医
 - ・ 常に10名前後の修練医 + 数名の大学院生が在籍

② 有効なプログラムに関するエビデンス

学びのチャンスをもっと提供します!

- ・ 健康経営の発展につながる研究
- ・ マネジメントシステムを産業保健実務に展開する研究
- ・ 産業保健活動の実務に関する研究
 - ・ 労働者の仕事と健康に関する実態調査/我が国における労働災害・安全文化に関する実態調査
 - ・ ESG投資/SDGsと産業保健・労働安全衛生
 - ・ 統括産業医・産業保健の統括マネジメント機能に関する研究
 - ・ 産業保健活動の経済評価
 - ・ その他 例: エビデンスに基づく健康診断の企画に関する研究

産業保健経営学
産業医科大学 UOEH

③ 社会システム構築への貢献

- ・ 健康経営の政策
- ・ 産業保健の統括機能/産業医のキャリア
- ・ ヘルスケアビジネスの発展と質の向上



④ 海外の産業保健への理解・貢献

- ・ アジアの修練医との交流
- ・ 国際学会での発表
- ・ 日系現地法人の調査



Dr. Nuri Purwito Adi



産学
JOEH

職業性腫瘍学

研究室スタッフ

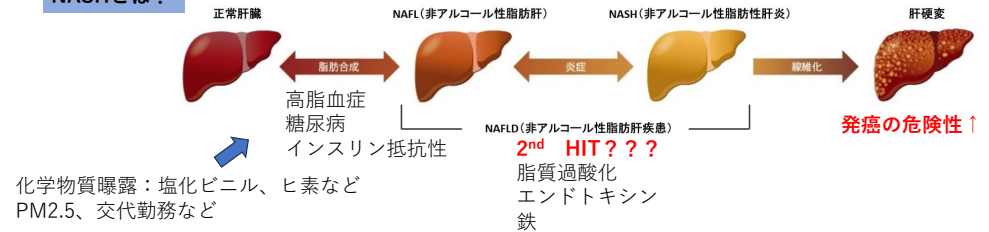
藤澤 浩一 (教授) 李 云善 (准教授)
 川崎 祐也 (助教) 河井 一明 (特別講師)
 渡邊 晋太郎 (非常勤助教)

主な研究テーマ

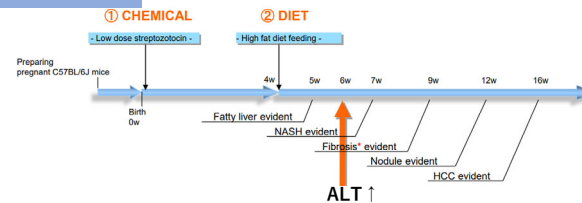
- 動物モデルを用いた肝臓疾患の研究
- 発がんエネルギー代謝の解析
- 酸化ストレスの関係評価
- DNA損傷を指標とした化学物質のリスク評価

動物モデルを用いた肝臓病態に関する研究

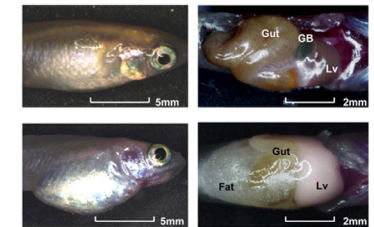
NASHとは？



マウスモデル



メダカモデル



酸化ストレスと8-OHdG

適度な運動
抹茶・緑茶
緑黄色野菜
赤ワイン 等

喫煙
過度な飲酒
精神的ストレス
環境有害物質 等

酸化ストレス
 活性酸素生成と消去のバランスを崩れ、過剰な活性酸素が生成されている状態。

DNA修復により
体外へ排出

生活習慣病・がん

専門産業医コースI 職業性腫瘍学研究室でできること

研究・調査を行う：

- ✓ ヒトの尿や唾液を用いた酸化ストレスの評価
- ✓ 職業性肝疾患の解析
- ✓ 発がんメカニズムの解析

➤ 有害性化学物質へのばく露によるリスク評価
 ➤ 作業環境リスク評価と改善
 ……

研究室訪問 随時訪問可
 (2024年1月12日 18:00~19:00
 産業医コースI 研究室説明会)
 産業生態科学研究所 東棟1階5187室
i-sykugy@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

放射線衛生管理学

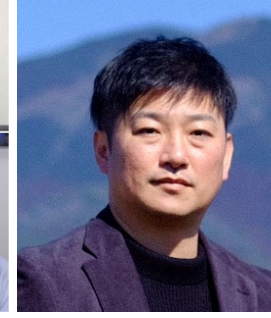
教授
岡崎 龍史



講師
香崎 正宙



助教
永元 啓介



基礎研究医員
王 铎



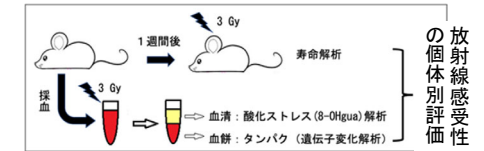
福島原発労働者の基礎研究、医療被ばくや低線量被ばく研究の最先端に関わります。放射線の高い知識を持ち、また災害に対応する研究室を目標としています。

福島原発事故後に創設された研究室：キーワードは放射線

- 福島原発作業員支援
放射線情報や教育の提供
放射線不安調査



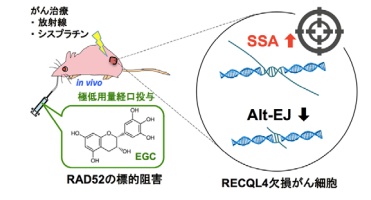
- 低線量放射線被ばく影響
- 放射線感受性の個体別評価



- 医療従事者の被ばく低減と放射線防護教育
蛍光ガラス線量計を用い臨床研究（線量測定）
放射線診療の実態に即した放射線防護教育

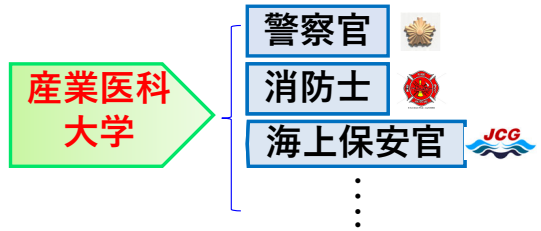


- 放射線や抗がん剤と併用可能な新しいコンセプトの抗がん剤の開発



- 大規模災害対応講習会
初期災害対応従事者(県警、消防、海保、自衛隊、医療従事者、企業対象)

緊急被ばく医療講座を行います



原子力災害の際の対応も行います

- 研究課題
- 岡崎 科学研究費助成事業 基盤研究(B)
福島原発作業員の放射線不安軽減を目指した教育プログラムの構築 (研究代表) (2021-2015)
放射線教育のSTEAM化によるEBPM支援プログラムの開発 (研究分担) (2021-2013)
厚生労働省 労災疾病臨床研究事業
デジタルトランスフォーメーションを活用した医療従事者の被ばく低減プログラムの開発と有効性の検証 (研究分担) 申請中
科学研究費助成事業 挑戦的研究
放射線感受性の個人評価によるオーダーメイド被ばく管理評価方法の確立 (研究代表) (2023-2025)
 - 香崎 科学研究費助成事業 基盤研究(B)
DNA修復特性を用いたがん治療耐性に対する制御機構の解明 (研究代表) (2023-2026)
武田科学振興財団
DNA修復活性化特性を標的とした革新的抗がん剤の開発 (研究代表) (2020-2023)
福岡バイオ産業創出事業に係る可能性試験事業
がん細胞で活性化するDNA修復経路の標的阻害を可能とする抗がん剤の開発 (研究代表) (2023-2024)
公益財団法人 臨床研究奨励基金 令和4年度 臨床研究助成
哺乳類の加齢に対する生物学的しなやかさ獲得メカニズムの解明 (研究代表) (2023-2024)
公益財団法人 柿原科学技術研究財団 先端科学技術開発等の育成事業助成金
がん細胞に対する低用量DNA修復経路標的阻害剤の作用機序の解明 (研究代表) (2022-2023)
公益財団法人 日立財団 倉田奨励金
がん細胞で活性化しやすいDNA修復経路を標的とした癌治療法の開発 (研究代表) (2022-2023)
 - 永元 科学研究費助成事業 基盤研究(C) (2022-2024)
医療従事者を対象とした屋内位置測位を用いた放射線被ばく原因究明ツールの開発と実践 (研究分担者) 申請中
科学研究費助成事業 若手研究
放射線診療におけるMR技術を活用した実践的放射線防護教育プログラムの開発と評価 (研究代表) (2024-2026)
日本診療放射線技師会学術助成金
ウェアラブルデバイスをを用いた診療放射線技師の熱中症リスク評価と要因特定 (研究代表) (2024)



人間工学研究室 (快適環境部門)
Department of Ergonomics

教授 榎原 毅
准教授 藤原 広明
特任助教 谷 直道

臨床医

Specialists

ヒトの病気を診て治療する
スペシャリスト

人間工学者

Specialized Generalists

仕事を診てヒトの特性に合うように
作業を改善するジェネラリスト

人間工学って何？

働く現場の作業環境・作業条件等のデザイン・改善計画の実施・評価などのコンサルティングも担う専門人材です

組織パフォーマンス
健康影響

well-being
疲労・作業負担・健康影響

【仕事人が人へ与える影響】
人間特性の原理

×

performance
生産性・品質・効率・安全性

【人が仕事に与える影響】
仕事を分析する原理

【低】 【高】

環境や活動プロセスから人が受ける
身体的・精神的負荷の大きさ

「Well-being × performanceの調和」
「最新テクノロジー × 人間工学」の
融合により、労働環境の
ソリューション・デザインを提案できる
産業医となれるよう、皆さんをサポートしま

Department of Ergonomics
The University of Occupational and Environmental Health, Japan

音声感情解析技術応用による
エンゲージメント
& ストレス推定

サイバー・フィジカル空間融合型
XR協働作業が生み出す
生産性&健康モニタリング

例えば最新テクノロジーを使って
well-beingとperformance
はどのように測定・評価できるの？

瞳孔径・サッケード運動と集中力/
うつ発症リスクの推定

職業性中毒学

職業性中毒学研究室は

研究所長
/教授
上野 晋

- ・ 長年、神経毒性学/中毒学領域の基礎医学研究に拘ってきた生粋の研究者。
- ・ 厚労省が実施する**化学物質管理**に係る検討会/委員会のメンバーも務めている。



教室事務
雪屋里絵

助教
後藤元秀

- ・ 小児科臨床を経て、宇部興産(株)での専属産業医に従事していた。
- ・ 化学製品/建築資材等の**化学物質取扱い業務の管理**に係る豊富な実務経験を持つ。



専門産業医コースI 修練医
溝上 峻 (卒5)
* 明治学園高卒



専門産業医コースI 修練医
永井愛希 (卒4)
* 豊葉学園高 (東京) 卒

専門産業医コースI 修了生
小池 渉: 三井情報(株)専属産業医
山田佳史: 昭和電工(株)専属産業医
石塚恒年: (株)日立製作所鉄道ビジネスユニット 専属産業医
長谷川 渉: (株)日立ビルシステム専属産業医

『化学』に強い産業医の育成を目指しています

これから産業医を目指すなら
「化学物質と毒性学」の知識は大きな強みになります

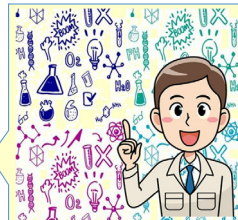
令和6年度から**化学物質管理の法規制**が大きく変わります。

個別に規制する現行の仕組みをやめる

危険性・有害性が確認された**全ての物質**に対して事業所が**自律的な管理**を実施することを**義務化**

化学物質管理者の選任義務化

事業場内の化学物質管理の体制を構築するために**専門性の高い助言や指導が不可欠**



化学物質や毒性学の知識が豊富な産業医が活躍する場面が増えてきます!

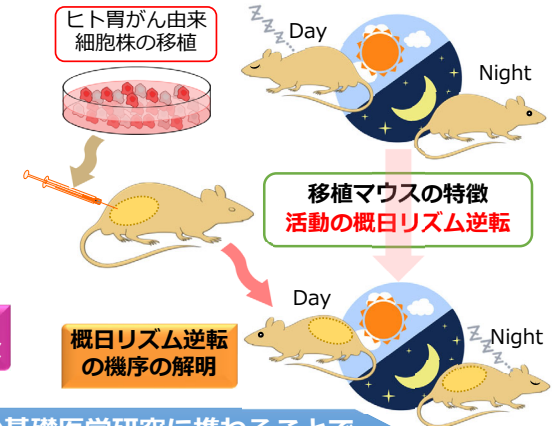
ここで対応力を発揮してこそ産業医大卒の産業医!

研究室全体でサポートします!

化学物質がもたらす毒性に関する研究



がん細胞移植マウスに関する研究



培養細胞/動物を用い、毒性学領域を含む基礎医学研究に携わることで「化学物質」「毒性学」に対する感覚を養い、理解を深めていきましょう。

労働衛生工学 (快適環境部門)

有害物質等の自律的管理に向けた 労働衛生工学を基盤技術とした 安全・安心で快適な作業環境設計



空気清浄

安全・安心



快適性

労働・生産性



スタッフ

教授：東 秀憲 (HIGASHI Hidenori)
 学位：博士 (工学) 九州大学
 資格・専門等：甲種危険物取扱者、第一種衛生管理者
 工業物理化学 (熱力学)、エアロゾル科学技術、労働衛生工学、シミュレーション

講師：大藪 貴子 (OYABU Takako)
 学位：博士 (医学) 産業医科大学
 資格・専門等：第一種作業環境測定士 (粉じん、特化物、金属、有機溶剤)
 分析化学、衛生学、労働衛生工学

学内講師：西田 千夏 (NISHIDA Chinatsu)
 学位：博士 (医学) 産業医科大学
 資格・専門等：日本内科学会 (認定内科医・総合内科専門医)、日本呼吸器学会 (呼吸器専門医・指導医)、
 日本呼吸器内視鏡学会 (気管支鏡専門医)、日本がん治療認定医機構 (がん治療認定医)、日本禁煙学会
 学会 (禁煙専門指導医)、産業医学ディプロマ



研究室HP QRコード

歴代修練医

秋山 泉 先生	トヨタ自動車株式会社 産業医
梶原 隆芳 先生	株式会社梶原産業医事務所
永瀨 祥大 先生	株式会社永瀨産業医オフィス
角合 力 先生	株式会社神戸製鋼所長府製造所 産業医
西 賢一郎 先生	ジャトコ株式会社 産業医 (産業医学推進研究会会長)
山本 誠 先生	ヤマハ株式会社健康管理センター 産業医
水口 要平 先生	株式会社とうかい産業医オフィス
岡田 崇願 先生	高知医療生活協同組合 産業医



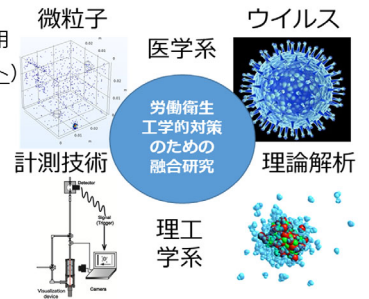
活動内容

1/23(火)18:00~ 研究室説明会

作業環境管理を的確に実施するために必要な労働衛生工学の基礎から応用までの知識を教育するとともに、粉じんを中心とした環境有害因子の有害性と曝露の評価方法ならびに作業環境改善に関する実践と、さらにこれらを産業の場を活かすために必要な計測技術の開発および生体影響評価への応用

作業環境管理および作業管理の観点から、主に粉じんなどの有害な環境因子の曝露の評価ならびにその発生と制御等に関する研究

1. エアロゾル発生、計測、評価と環境測定および曝露システムへの応用
2. 労働衛生保護具および簡易プロテクタ類の性能評価 (フィットテスト)
3. 作業環境の快適性と環境に応じた感染対策
4. 有機系吸入性粉じんの物理化学的特性と吸入曝露試験による有害性評価
5. 微粒子の細胞応答
6. エアロゾルサンプリング装置の開発、性能評価と環境測定への応用
7. 作業環境で用いられる粒子状物質のリスクアセスメントに関する研究
8. 事業場における労働衛生学的対策の実践的研究



労働衛生工学⇒産業衛生分野への応用

高齢労働者産業保健研究センター



Toward healthier work environment for 100 years of life

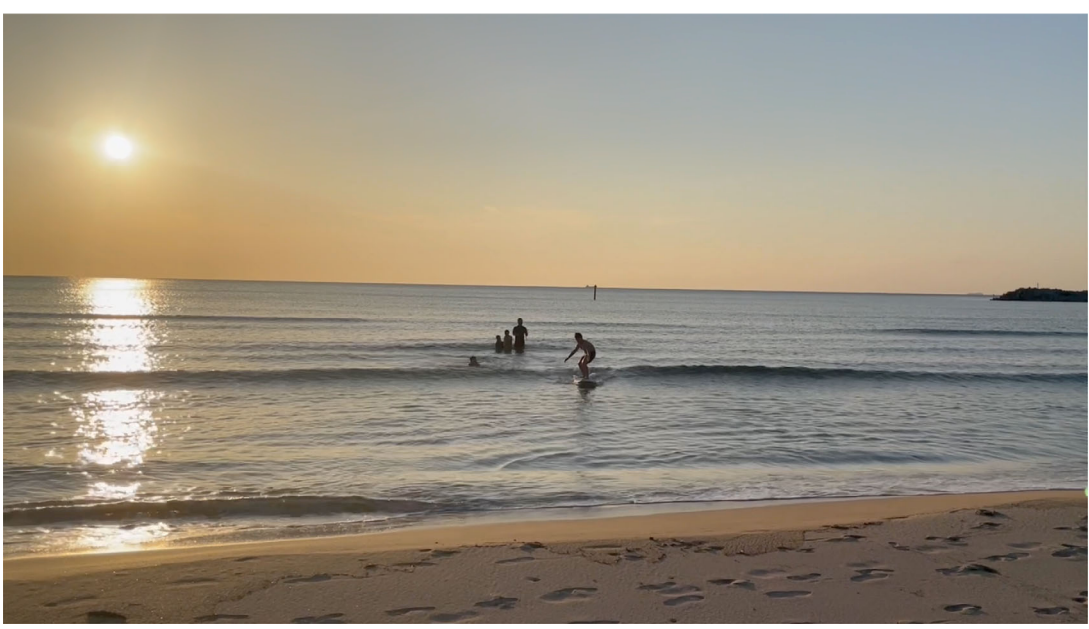
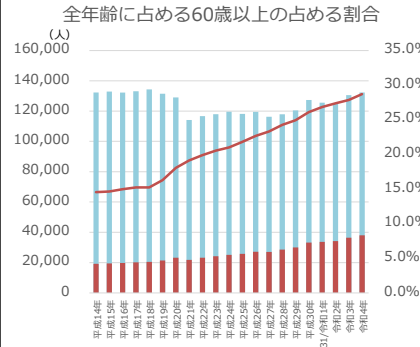
増加する高齢者の労災(eg,転倒)を予防せよ



人類誕生
第1集 こうしてヒトが生まれた



労働災害による死傷者数



産業保健管理学

研究室メンバー紹介



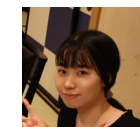
堀江 正知 教授 (3回卒)
これから医師になる皆さんは、どのような人生を想像しているでしょう。若いうちに伸びる方向を定めて、大いに鍛えておくことが、人生の基礎になります。応援しますので、一緒に頑張ってみませんか？



永野 千景 講師 (17回卒)
産業医は医師30万人のうち0.5%しかいない貴重な存在です。産業医大に来たからには産業医を目指すべし！私もこの教室で学びと成長を得た一人です。一緒にキラキラ光る石(医師)を目指しませんか？



石塚 洸太郎
(37回卒・ヨット)
実験参加者募集中！



外川 舞
(37回卒・ギタマン)
弟子募集中！



田島 慶一
(36回卒・ボート)
育児と仕事の両立がしやすいです！



角 建太郎
(35回卒・弓道)
相談乗ります！



資料室♡
強力なサポーター

研究内容 産業保健政策・暑熱対策・騒音障害防止対策

暑熱班
E=1.00 TA=28.0 ALM=OFF ZOOH=OFF

騒音班

長時間労働
医師による長時間労働面接指導実施マニュアル

全国で多数の先輩産業医が活躍中！

中国地方

- 山下 真紀子 JFEスチール 倉敷 (岡山)
- 濱本 貴史 三菱ケミカル 岡山 (岡山)
- 中村 文 マツダ広島本社 (広島)
- 田淵 翔大 三菱重工業 呉 (広島)
- 西 健斗 JFEスチール福山 (広島)
- 田中 貴浩 日立製作所 笠戸 (山口)
- 森 貴美代 神戸製鋼 (山口)

中部地方

- 高畑 真司 JR東海 名古屋 (愛知)
- 青山 知高 トヨタ自動車 (愛知)
- 安田 佑里那 三菱ケミカル (三重)
- 田中 博之 リコー沼津 (静岡)

東北地方

- 竹澤 公子 JR東日本 仙台 (宮城)

関東地方

- 清水 智恵 花王本社 (東京)
- 川瀬 洋平 クレディセゾン/田辺三菱製薬 (東京)
- 佐々木 直子 産業医事務所 (神奈川)
- 新見 亮輔 IHI本社 (東京)
- 小森 陽子 明電エンジニアリング (東京)
- 中川 有美 旭化成 本社 (東京)
- 森實 修平 パナソニック (東京)
- 橋本 花穂里 三菱重工 (東京)
- 日比野 浩之 マルイ (東京)
- 嶋崎 優 NEC本社 (東京)
- 前田 妃 IHI 武蔵 (東京)
- 角 建太郎 旭化成本社 (東京)
- 中尾 智 アルバック/JMU本社 (神奈川)
- 中川 知 住友重機械工業 (神奈川)
- 横谷 俊孝 三菱重工業 本牧 (神奈川)
- 井上 大輔 スタンレー電気 (神奈川)
- 福澤 君枝 富士電機 (神奈川)
- 佐久間 卓生 JFEスチール東日本 (千葉)
- 逸藤 友貴美 SUBARU (群馬)
- 阪上 拓 クボタ 筑波 (茨城)

九州地方

- 筒井 隆夫 黒崎播磨 (福岡)
- 浅海 洋 九州旅客鉄道 (福岡)
- 那須 幸平 若戸病院 (福岡)
- 上野 しおん TOTO (福岡)
- 角館 亜弓 九州健康総合センター (福岡)
- 田崎 祐一郎 ゼンリン (福岡)
- 寶珠山 夏子 TOTO (福岡)

関西地方

- 河津 雄一郎 平和堂 (滋賀)
- 中田 博文 USJ (大阪)
- 田中 友一朗 ダイキン工業 (大阪)
- 中山 雅史 クボタ 堺 (大阪)
- 田中 里穂 タイハツ (大阪)



呼吸病態学



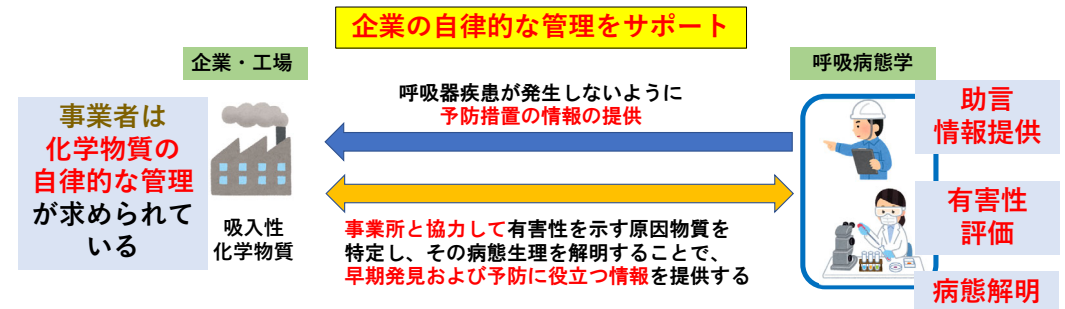
教授 森本泰夫
 准教授 和泉弘人
 学内講師 友永泰介
 5年次修練医 川合直紀
 4年次修練医 佐藤和真

興味のある方は、なんでもお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先(担当:友永)
t-tomonaga@med.uoeh-u.ac.jp

呼吸病態学の使命

呼吸病態学は、教育・研究を通して
 労働者が職業性呼吸器疾患に罹患しないように
 予防するための情報を提供することを使命としている



呼吸病態学の修練の特徴

吸入性化学物質の**有害性発生機序**を理解し、**説明できる能力**が身に着く
 作業場における吸入性化学物質を**適切に管理**し、**リスクを削減する能力**が身に着く
 有害性のある又は不明な吸入性化学物質に関する研究を通して、**発表・論文化する**
学位取得も可能



教室が考える理想の産業医像

産業医の基本を十分に身に着けた上で、
 有害物質を取り扱う企業における**化学物質の自律的な管理をリードする産業医**

呼吸病態学の研究内容



- 有害性評価物質
- 有機高分子化合物 (ポリアクリル酸)
 - マイクロプラスチック (環境汚染物質)
 - 工業用ナノ材料
 - トナー粒子
 - 月の砂 (疑似物質)

- その他、いろいろな研究をしています
- 気道アレルギーに関する研究
 - 有機高分子化合物の肺障害の病態解明
 - 吸入性化学物質の有害性評価システムの開発
 - ノックアウトマウスを利用した病態解明

呼吸病態学に在籍した修練医の先輩方

- 21期 轟木 基 (西日本産業衛生会)
- 23期 橋場 昌義 (三菱電機)
- 24期 神原 辰徳 (開業)
- 27期 友永 泰介 (学内講師、呼吸病態学)
- 31期 丸居 誉 (ダイハツ工業)
- 36期 川合 直紀 (修練医 呼吸病態学)
- 37期 佐藤 和真 (修練医 呼吸病態学)
- 38期 中村 佑生子 (株式会社リコー 修練中)
- 39期 森元 伸哉 (九州労災病院 研修医2年目)
- 41期 山城 健司 (6年生)



進路について何でも聞いてください!! 相談にのります!!

作業関連疾患予防学

- ・ スライドマスターの編集は行わないでください。
- ・ この1枚目のスライドには、講座名のみを記載してください。
- ・ スライドはタイトルページを含めて全4枚とします。
- ・ 当日は完成版提出順にご発表いただきます。
- ・ 提出〆切は11月29日です。

作業関連疾患予防学の特徴

- ・ 産業医活動の現場と直結する研究テーマ!
 - 現場第一、自分で見て、聞いて、感じて、気付くことが重要です
- ・ 先輩産業医の話を聴く機会が多々!
- ・ 主体的に研究を実施! (自分で手を動かす毎日)
 - 研究室スタッフはサポート役です
- ・ 研究室スタッフはみな医師かつ産業医経験があり!
- ・ コミュニケーションを重視!
 - プレゼンテーションの仕方や研究のすすめ方自体が研究室としての研究対象です

作業関連疾患予防学での修練について

<修練目標>
・ 現場での作業態様のデータを基にして多角的に解析し、実践的な産業保健の養成

<具体的な習得目標>
・ 現場における様々な作業環境に関する知識の習得
・ フィールド調査のプロセスの理解と研究計画策定方法の習得
・ 疫学的研究の実践(現場体験)

<修練スタイル>
・ 教室内検討会・抄読会の参加
・ 実地研修(企業訪問(巡視やデータ収集を含む))

<詳細>
・ 現在実施中の長期コホートに参加し、現地でデータ収集する
・ 統計ソフトで実際のデータを分析
・ 応用研究・技術開発研究

作業関連疾患予防学の現在の研究テーマ

1. 中小企業の産業保健に関する調査およびその活動支援ツールの開発
2. 特殊健康診断等のデータ入力標準化およびデータ利活用ツール開発のための研究
3. ウェアラブル端末を用いた効果的な作業管理に関する研究
4. 臨床調査に関連した健康データベース活用についての研究

教室説明会：12月18日(月) 18時より
作業関連疾患予防学カンファレンスルームにて

産業精神保健学

産業精神保健学 : スタッフ

研究室説明会 (1/18) の
ご参加申込はこちら ▶

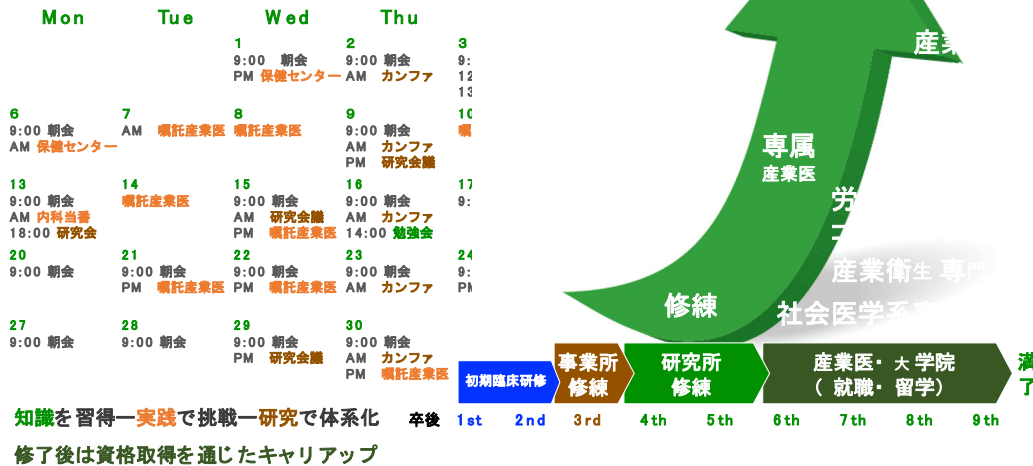


教授 江口 尚 (18期) 修練医
講師 真船 浩介 (他学) 阿部 亨 高木 友太
学内講師 日野亜弥子 (27期) 葛山 巧 花岡裕美



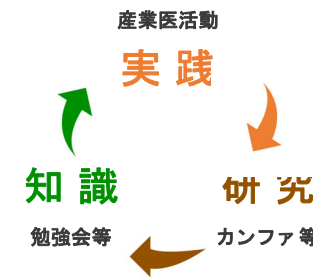
大学院 (他学卒) 事業所修練
古瀬 大助 古瀬 孝太 小倉 拓真
寺道 統毅 松岡 雄樹 清水 音寧
安田 朋弘 初期臨床研修 田宮 利勝
加納 啓輔 藤野 彩紗子 三田 隆風
中田 万葉 森中 萌子 橋本 信哉
医学部6年生 太田 凌 林 聖雄
朝成 鈴
名誉教授
永田 隆夫
修了者
梅田 裕司 (28期) 尾花 浩二 (28期)
本村 登輔 (28期) 笠原 謙 (27期) 尾花 浩二 (28期)
寺坂 紗稀 (35期) 堤 雄介 (27期) 大崎 陽平 (20期)
森田 涼介 (35期) 日野亜弥子 (27期) 轟 美和子 (20期)
山田 美咲 (33期) 宮崎 洋介 (27期) 白川 千恵 (19期)
有賀 駿 (32期) 田中 伸明 (26期) 中川 悠子 (19期)
大須賀 淳 (32期) 堀 知絵美 (26期) 山田 達治 (18期)
杉野美由紀 (31期) 益田 和幸 (26期) 永瀨 啓子 (18期)
野口 裕輔 (31期) 野崎 卓朗 (25期) 田原 裕之 (17期)
脇田 祐美 (他学) 田口 要人 (23期) 秋山ひろみ (12期)
井戸 晴香 (30期) 伊藤 裕康 (22期)

産業精神保健学 : 生活・キャリア



産業精神保健学 : コンセプト

労働者を対象とした実践的な研究から実務スキルを研鑽



産業精神保健学研究室では…産業医活動での困難・疑問に
研究を通じて解決策を立案し、体系的な知見を実務に還元

産業医
多様な業種・職種・規模の事業場の産業医で実践

NIPPON STEEL UBE ZENRIN thyssenkrupp

福岡県 北九州市

研究
産業医業務等で経験した困難、疑問が研究テーマ

運動・筋骨格系障害・社会的決定要因、配置転換・昇進・転勤、通勤・生活時間、睡眠、飲酒問題、非正規雇用、人付き合いの自信、満足感、孤立支援、障害者差別、中小企業、過重労働、COVID-19、働きやすさ

勉強会
体系的学習：産業医学基本講座・実務講座
応用的学習：労働基準法勉強会、専門医試験対策
研究手法等：統計勉強会、論文抄読、事例検討

公衆衛生学



教室ウェブサイト
(教室紹介や採用関連情報を掲載しています)

公衆衛生学教室のビジョン&ミッション

ビジョン

- ・ 人類のより良い生存を勝ちとるための新しい福祉社会 (建学の精神より)

ミッション

- ・ 医療を通じて、あらゆる領域の知見を元に社会をより良いものに変える。
- ・ 新しい福祉社会がどのようなものであるかを創造し、その実現のための施策を探究する
- ・ 新しい福祉社会に資する戦略をエビデンスに基づいて提案し、変容を促す
- ・ これらを実現可能とする多様な仲間を見つけ、育てて、共に働く

公衆衛生学教室でできること

政策的側面(厚生労働省医系技官、保健所長、政策研究者等)

- ・ 医療ビッグデータを自らの手で扱うことができる
- ・ 保健医療介護の問題点を見つけ、政策提言や地域づくりの実践を行う

産業保健的側面(産業医、産業保健研究者等)

- ・ データに基づいた健康施策の立案と実践に携わる
- ・ ヘルステック等のデジタル技術の開発から活用までを一気通貫で行う

起業家的側面(コンサルタント、ヘルステックベンチャー等)

- ・ ベンチャーや新規事業企画等のビジネスを通じ科学的知見の社会適用を行う

公衆衛生学教室が大切にしていること

心理的安全性と変化

全員が自分の居場所だと思える組織でありたい。そして、個が横(技術的・知識的)にも縦(人間的)にも変化(≒成長)できる組織でありたい。お互いに見える範囲を広げ(巨人の肩に乗って、巨人よりも遠くを見てほしい)、見つかったやりたいことを支援する。

関係性の質

学生から学ぶ。同僚から学ぶ。同僚を支える。点取り屋はディフェンスをリスペクトする。特に関係性の質を高めることを意識する。

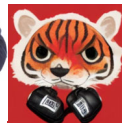
災害産業保健センター



立石清一郎教授 オールマイティプレーヤー/マネージャー
あつめた顧問



五十嵐侑講師 ガチ産業医 フォロワー1400人



概要

- ・自然災害や工場災害、パンデミックなどの災害事象は世界中で発生
- ・災害発生時には、復旧・復興作業に多くの労働者が従事し、長い期間にわたって労働者の健康問題（例：過重労働や熱中症、感染症メンタルヘルス不調など）が発生
- ・復旧・復興の原動力は「働く人」その基盤は「働く人の健康」
- ・災害産業保健は、災害時の産業保健活動を体制作りから実践まで、事例分析や応用を通して確立する研究分野

災害の例



使命と方針

使命

災害時の緊急対応から復旧活動に至る一連の流れにおいて、災害対応者の健康影響を最小化すべく、実務的支援および研究活動を行う

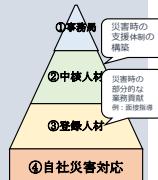
方針

大規模災害時の産業保健人材育成と、実務に資する研究を実践し、関係各所との確実な連携を継続的に行う

実務

災害産業保健外部支援チーム（登録メンバー 現在60名）
仮称：D-OHAT（Disaster Occupational Health Assistant Team）

- ・災害時の産業保健支援チーム
-復旧・復興作業に従事する労働者支援、支援者支援
例：被災企業への支援、保健所支援、行政支援
- ・災害産業保健センターは事務局として
-現地への支援チームの派遣
-研修会開催、災害支援人材教育
-災害支援関連組織との連携・協定



・災害時/通常時に必要な総合的産業保健能力
(総合産業医)



研究

研究テーマ

- ・新規災害発生時の産業保健ニーズ調査
- ・災害発生時の産業保健マニュアルや実践的なツールの開発や改訂
- ・女性の健康管理/両立支援/健康診断
- ・福島原発関連未公開労働者データの調査
- ・Long COVID(コロナ後遺症) ~厚労省ガイドライン~
- ・災害支援人材教育プログラムの開発



教育

教育計画（修練医）

- ・各種講座受講（基本講座・実務講座）
- ・実務能力の獲得
-通常の産業医業務の実践力向上
事業場研修
嘱託産業医活動
- ・災害産業保健のプロフェッショナル人材教育
-災害対応システムづくりへの貢献
研修会や各種関連会議への出席
議事録・会議資料などの作成
- ・研究マインドの涵養
-社会課題に直結した災害産業保健研究テーマ



強み 解決能力に長けた教員、臨床系を含めた豊富なネットワーク、マーケティング力

12月20日18時から：災害産業保健センター対面説明会（西棟2階）

入局者：3名まで

教授：立石 清一郎
tateishi@med.uoeh-u.ac.jp